

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第32週 > 咽頭結膜熱 - 定点当たり報告数は第30週からは減少しているが、相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示している / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-6

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第32週の現段階での報告数は190例で、1週間の報告数としては第29週(213例)、第31週(211例)に次いで多かった



病原体情報
P.7-8

手足口病患者から検出されているウイルス 2004年 / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年 / 流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス 2004年



速報
P.9

保育所におけるRSウイルスの集団感染事例 大阪市



海外感染症情報
P.10-12

ベトナムでの鳥インフルエンザ発生 / 東南アジアでのデング熱流行 / カナダと米国のウエストナイルウイルス



感染症の話
P.13

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(32週)
P.14-20



32週のデータ
P.21-30



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第32週コメント > 8月12日集計分

全数報告の感染症

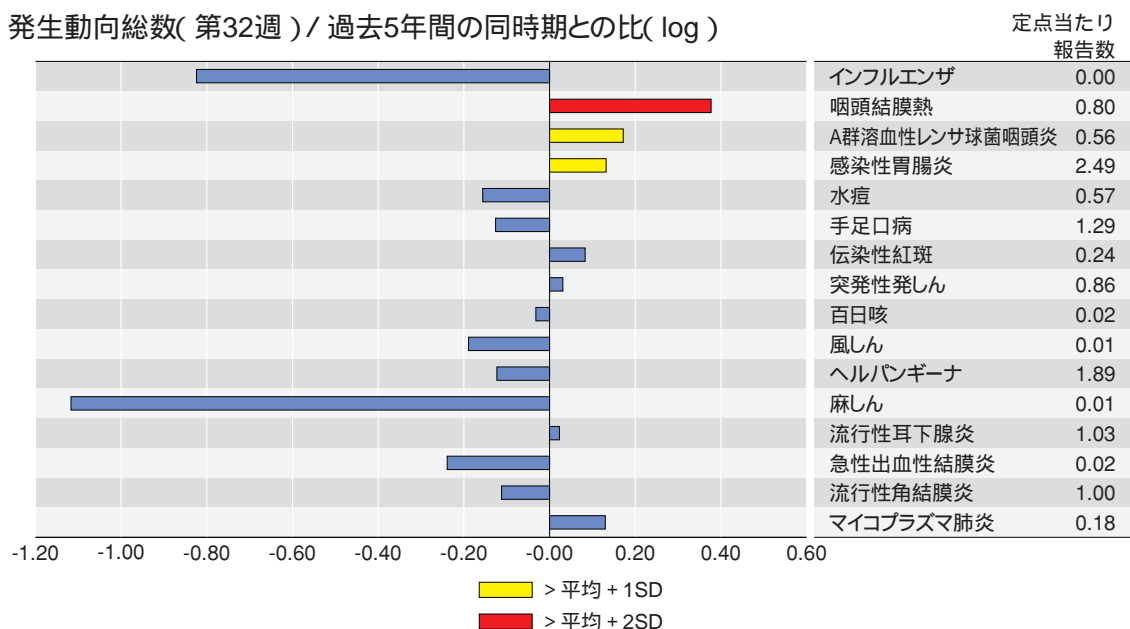
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 2例(推定感染地域: 国内1例、フィリピン1例)
 細菌性赤痢 14例(推定感染地域: 国内1例、インド3例、インドネシア2例、
 フィリピン2例、タイ2例、中国1例、カンボジア/ベトナム1
 例、モロッコ1例、マリ1例)
 腸チフス 1例(推定感染地域: フィリピン)
 パラチフス 1例(推定感染地域: インドネシア)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 190例(うち有症者116例)
 報告の多い都道府県: 宮城県(21例)、岡山県(14例)、東京都(13例)、
 福岡県(12例)
 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(75例)、O26 VT1(61例)、O157 VT2
 (25例)、O157 VT4(4例)、O26 VT4 1例)、O111 VT1(1例)、
 O103 VT1(1例)、その他(22例)
 年齢: 10歳未満(90例)、10代(30例)、20代(23例)、30代(19例)、40代(6
 例)、50代(9例)、60代(6例)、70歳以上(7例)
 - 4類感染症: デング熱 3例(推定感染地域: ミャンマー、インドネシア、フィリピン)
 日本紅斑熱 1例(高知県、死亡)
 レジオネラ症 2例(59歳、69歳)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 3例(推定感染地域: 国内1例、不明2例)
 推定感染経路: 経口感染1例、不明2例)
 ウイルス性肝炎 4例(いずれもB型__推定感染経路: いずれも不明)
 後天性免疫不全症候群 14例(無症候7例、AIDS 5例、その他2例)
 推定感染経路: 性的接触12例(異性間5例、同性間6例、異性間・同性
 間1例)、不明1例、その他1例
 推定感染地域: 国内10例、タイ2例、不明2例
 梅毒 4例(早期顕症1期1例、無症候3例)
 破傷風 1例(71歳)
- (補)他に、つつが虫病1例、ライム病1例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例の報告があった
 が、削除予定。また、報告遅れとして急性脳炎3例(いずれも病原体不明(1歳、5
 歳、20歳))の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第32週)/過去5年間の同時期との比(log)

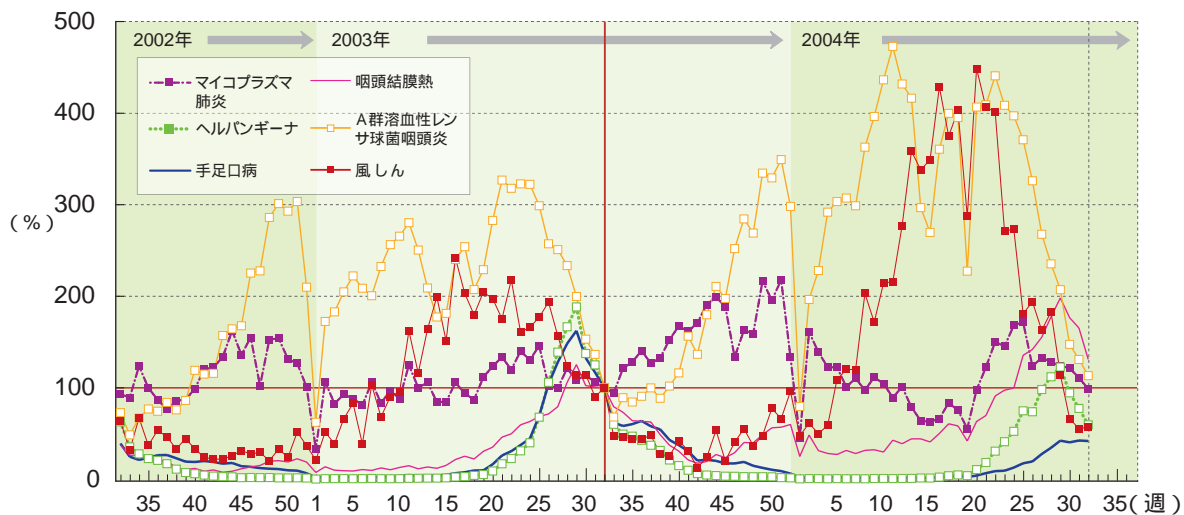


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。しかし相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示しており、都道府県別では福井県(2.4)、北海道(1.6)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多く、都道府県別では大分県(1.8)、富山県(1.3)、沖縄県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いた後、第31週からはほぼ横ばいで推移している。過去5年間の同時期と比較してやや多く、都道府県別では福井県(7.8)、鳥取県(6.0)、大分県(5.3)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加し続けた後、第30週からほぼ横ばいで推移している。都道府県別では大分県(4.9)、北海道(4.0)、長野県(3.5)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では19都府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、第26週を除き、第20週から第29週まで増加し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では秋田県(5.7)、富山県(5.4)が多い。麻しんの定点当たり報告数は前週と同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。14都道府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて31都道府県から報告がなされ、報告数は合計43例であった。

基幹定点報告疾患: 無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は第20週から緩やかな増加傾向が認められていたが、第32週は減少した。都道府県別では滋賀県(0.6)が多い。マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第20週から増加傾向が認められた後、第25週をピークに減少傾向が認められており、第32週も減少した。都道府県別では秋田県(1.1)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第32週)



2003年第32週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第32週の現段階での報告数は190例で、1週間の報告数としては第29週(213例)、第31週(211例)に次いで多かった(図1)。また、第32週までの累積報告数は1,873例で、過去3年間の同週までの累積報告数(2001年2,779例、2002年1,924例、2003年1,269例)と比較すると2002年の状況に近い。第32週までの累積報告数を都道府県別にみると、石川県(156例)、東京都(153例)、大阪府(126例)、岡山県(121例)が多い(図2)。第32週に限ると、宮城県(21例)、岡山県(14例)、東京都(13例)、福岡県(12例)が多く(図3)、報告の多くは家庭内感染を含む散発事例であるが、宮城県からの報告の多くは、保育所でのO26 VT1による集団発生に関連したものであった。

第31週までの累積報告数を血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 633例(34%)、O157 VT2 418例(22%)、O26 VT1 346例(18%)の順に多い。また、年齢群別(0～69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満740例、10代336例、20代259例、30代151例、40代98例、50代120例、60代80例、70歳以上89例となっている。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は第32週に1例報告があり、2004年の累積で26例となった。これらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2(13例)、O157 VT1・VT2(9例)、O26 VT1・VT2(2例)、その他2例であった。また、年齢群別では10歳以下が19例(うち、5歳以下は16例)、10代1例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性8例、女性18例と女性に多かった。また、第30週に報告された症例について、第32週に死亡が報告され、本年報告されている死亡例は2例(70代女性、2歳女性)となった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

例年報告のピークは夏季にあるので、一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、夏季には簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別週別発生状況

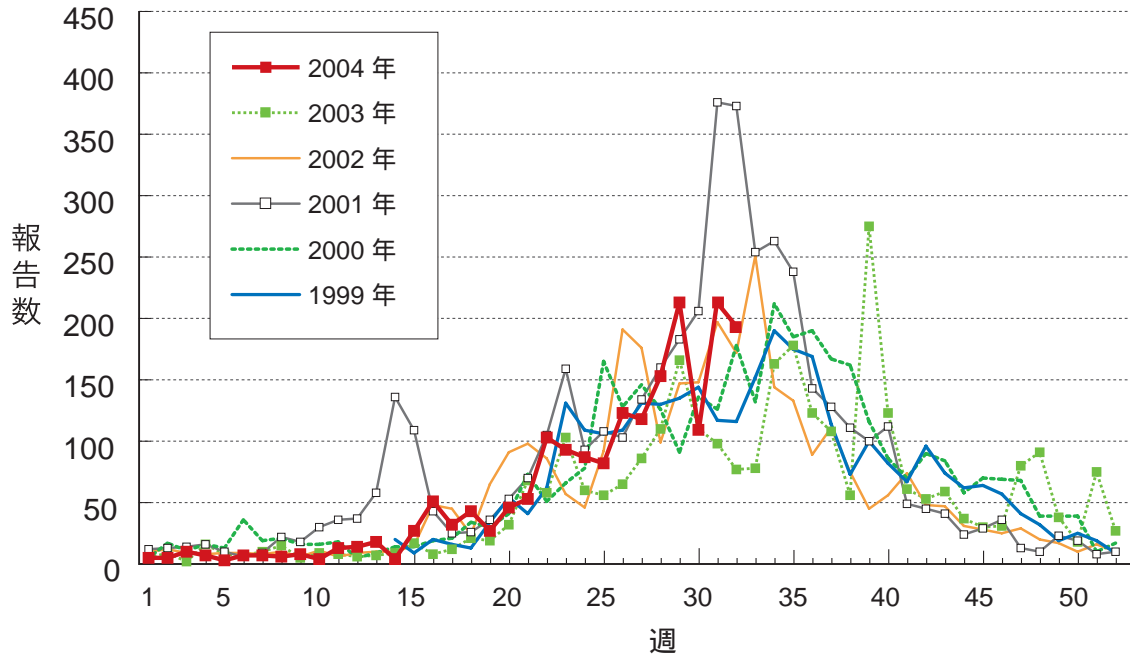


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第1 ~ 32週の累積)

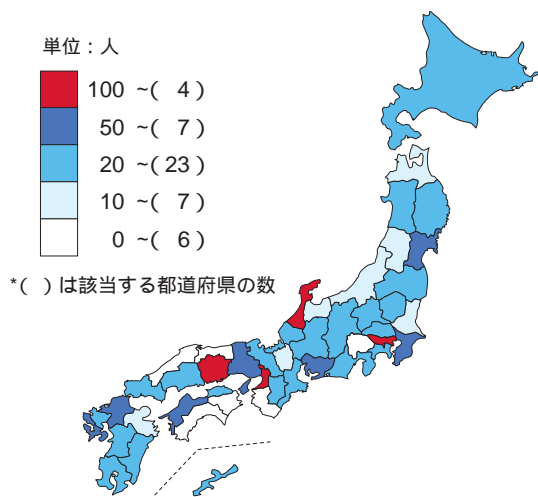
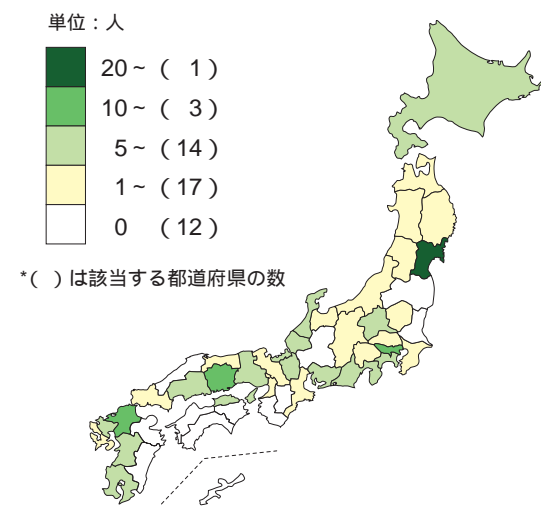


図3. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第32週のみ)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

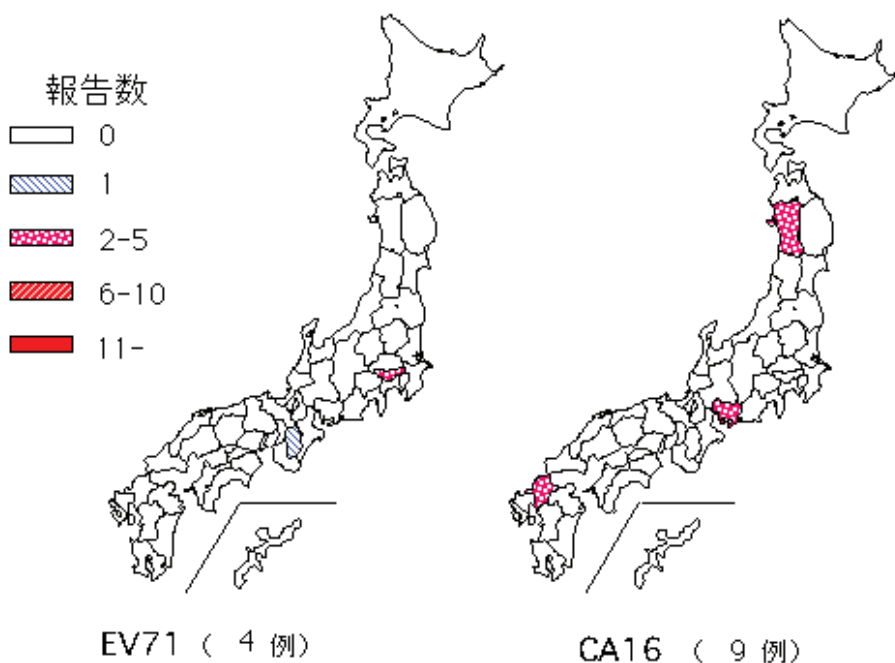
各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年8月13日現在報告分)

手足口病患者から検出されているウイルス 2004年

A群コクサッキーウイルス16型(CA16)が、これまでに3県から計9件報告されている。第10週に秋田県から5件(IDWR2004年第16号13ページ速報記事参照)、第24 ~ 25週に福岡県から2件、第26週に愛知県から2件の報告である。昨年(2003年)主流であったエンテロウイルス71型(EV71)は、東京都から3件(第22週1、第26週2(IDWR2004年第27号9ページ速報記事参照))、奈良県から1件(第6週)が報告されている。その他に、CA6が1件、B群コクサッキーウイルス5型が1件、エコーウイルス(E)6型が1件、E27が1件報告されている。

図. 都道府県別手足口病患者からのEV71&CA16分離報告状況、2004年
(病原微生物検出情報 : 2004年8月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年

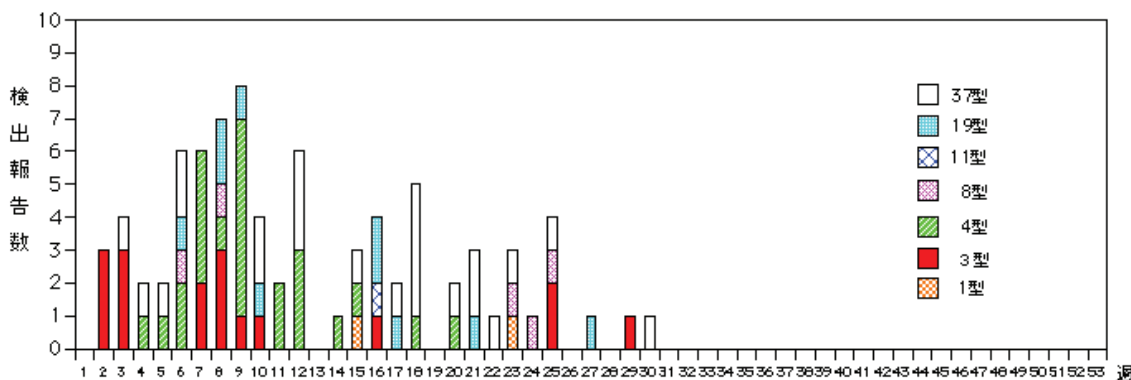
エコーウイルス(E)が60件(30型36、6型11、18型7、13型3、7型1、25型1、27型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)が28件(5型15、3型6、1型5、2型2)、ムンプスウイルスが18件、A群コクサッキーウイルス9型が2件報告されている。第25週(6/14 ~)以降では、E30が22件と最も多く、うち18件は福島県からの報告であり、その他に東京都3、石川県1が報告されている。次いでCB5が10件(奈良県4、大阪府2、愛媛県2、滋賀県、福岡県各1)、ムンプスウイルスが8件(広島県5、京都府2、大阪府1)、E6が4件(福岡県4)などが報告されている。

流行性角結膜炎患者から分離されているアデノウイルス 2004年

アデノウイルスは計82件が報告されており、ほとんどが結膜ぬぐい液(81)から分離されている(その他に咽頭ぬぐい液1)。昨年(2003年)報告の少なかったAd4が、第4 ~ 20週にかけて24件の報告があり、このうちの17件は群馬県からの報告である(その他に熊本県4、北海道2、香川県1)。次いでAd37が23件(北海道6、岩手県3、大阪府3、愛知県2、熊本県2など)、Ad3が17件(北海道5、愛知県2、熊本県2など)、Ad19が10件(山形県4、群馬県2など)、Ad8が5件(愛知県4など)、Ad2が2件、Ad11が1件報告されている。

週別流行性角結膜炎患者からのアデノウイルス等分離報告数、2004年

(病原微生物検出情報：2004年8月13日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



保育所におけるRSウイルスの集団感染事例 大阪市

2004年7月、大阪市内において発生したrespiratory syncytial virus(RSV)の集団感染事例について報告する。

患者は、市内にある保育所の園児9名であり、Aクラス11名中8名、および同フロアにあるBクラス15名中1名の計9名であった。最初の患者が7月7日に発症後、8～9日にかけて2名、11～13日にかけて残りの6名が発症した。近隣の医院を受診した結果、発熱、咳、喘鳴などの共通した呼吸器症状が認められた。年齢は0～1歳が3名、1～2歳が6名であった。9名中3名は肺炎もしくは細気管支炎であり、その後、他の医療機関にて入院治療を受けた。他の3名も重症であったが、現在は全員回復した。

近隣の医院を受診した9名ではRSV抗原迅速診断キットの結果、全員が陽性であった。引き続きRSVの遺伝子検査をおこなう目的で、当研究所において7名の検体について検討した。QIAamp Viral RNA Mini Kitを用いて鼻腔ぬぐい液からウイルスRNAを抽出後、Erdmanらが報告したF遺伝子領域を標的とするprimer pair(J. Clin. Microbiol., 41: 4298-4303, 2003)を用いてreverse transcription(RT)-PCRをおこなった結果、すべての検体からRSVの遺伝子が検出された。増幅されたDNA断片を精製後、ダイレクトシーケンスにて塩基配列(312塩基)を決定したところ、7株間の塩基配列は100%一致することが判明した。

以上の結果から、今回の集団感染は同一株のRSVにより引き起こされた可能性が高いことが示唆された。これらの分離株をDDBJのBLAST(<http://www.ddbj.nig.ac.jp/search/blast-j.html>)にて相同性検索をおこなった結果、シンガポールで分離されたLLC62-111株と100%一致した。RSVと同様の臨床症状を示すヒトメタニューモウイルス(hMPV)の検出もRT-PCR法にて試みたが、すべて陰性であった。現在、Hela細胞、FL細胞を用いてウイルス分離を試みている。

以後、同保育所および周辺において新たな患者の発生は認められておらず、感染は終息したものと考えられた。RSV感染では冬季を中心とした流行が報告されており、今回のように夏季の感染事例は珍しい。現在、他の遺伝子領域における塩基配列の解析を進めており、今後、既知株の塩基配列と比較検討をおこなう予定である。

大阪市立環境科学研究所

改田 厚 村上 司 入谷展弘 久保英幸 石井警次

浜本小児科

浜本芳彦

(IASR2004年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

ベトナムでの鳥インフルエンザ発生

WHO/CSR 2004年8月12日

ベトナム保健省は8月12日に、最近ベトナムでインフルエンザ様疾患により死亡した3名が、鳥インフルエンザウイルス感染によるものであったことを報告した。これらの患者は6月19日から8月8日にベトナムの病院に入院し、保健当局による調査が行われている一群の患者のうちの3名である。初期の診断検査により、原因ウイルスがH5型であることが確認された。死亡者3名のうち2名は北部のHa Tay省で発生し、1名は南部のHau Giang省で発生した。

WHO/CSR 2004年8月13日

昨日公表された鳥インフルエンザによる死亡者3名の詳細が現在明らかになった。

ベトナム北部Ha Tay省の患者は8月2日に死亡した4歳男児と、8月4日に死亡した11カ月の女児であった。南部Hau Giang省での患者は、8月6日に死亡した25歳女性であった。この患者から採取された臨床検体では、検査で鳥インフルエンザH5N1型株陽性となっている。

WHOは、ベトナム北部と南部での他の患者由来の臨床検体でも同様に検査が行われているとの報告を受けている。ベトナム政府は、過去3週間にわたり小児や若年成人の間で検知され、大部分が致死的となった重症肺炎患者数例を調査している。臨床検体は、死亡者全員からは入手できていない。

本日実施された疫学的調査において、確定患者との家族内接触者から臨床検体が採取された。接触者は全員が健康である。また、確定患者の住居周辺の家禽やその他の飼育動物からの検体が採取された。これらやその他の調査結果は、今回の流行の感染源や感染伝播経路に関する手掛かりになるとと思われる。

東南アジアでのデング熱流行

CDC/Traveler's Health 2004年8月13日

2004年7月23日にWHO南東アジア地域事務局(SEARO)は、バングラデシュ、インドネシア、スリランカでのデング患者数増加を受け、南東アジアの全加盟国にデング警報を発令した。ブータンからも初のデング流行の報告がなされた。デリーの国立感染症研究所で実施された検査により、ブータンでの流行の原因としてデング熱が示唆された。政府による流行調査と予防制圧対策実施を支援するために、SEAROの専門家チームがブータンに急派された。WHOは近隣諸国に対し、デング熱に対して警戒し、サーベイランスを強化するよう警告している。

デング熱の地理的分布は急速に拡大している。デング熱は南太平洋、アジア、カリブ海、アメリカ大陸、アフリカの大部分の熱帯諸国で見られる。デング熱の症状としては激しい頭痛、発熱、関節痛、筋肉痛などがみられる。デング熱が存在する地域への渡航者は、シマカ属、特にネツタイシマカにより伝播されるデング熱の予防を行うよう心がけるべきである。

カナダと米国のウエストナイルウイルス

[1] カナダ : Health Canada/Surveillance Data 2004 Program

サーベイランスデータ2004年(2004年8月11日現在)

ヒト患者:

オンタリオ州で可能性患者1名が報告された。2004年カナダで初の患者となった。

表. 死亡したトリでの調査結果(2004年8月11日現在)

(ヘルスカナダホームページより)

州 名	検査数	陽性疑い数	陽性確定数
ニューファンドランド	57	0	0
プリンスエドワードアイランド	85	0	0
ノバスコシア	346	0	0
ニューブランズウィック	375	0	0
ケベック	585	1	33
オンタリオ	1,122	7	125
マニトバ	312	0	16
サスカチュワン	296	0	11
アルバータ	496	0	0
ブリティッシュコロンビア	1,082	0	0
ユーコン準州	11	0	0
北部地域	8	0	0
ヌナブト	2	0	0
合 計	4,777	8	185

[2] 米国 : MMWR/ CDC/ArboNET報告

MMWR 2004; 53(27); 615、8月13日

ウエストナイルウイルス活動性 - 米国 : 2004年8月4 ~ 10日

ヒト患者:

2004年8月4 ~ 10日の間に、14州(アラバマ州、アリゾナ州、カリフォルニア州、フロリダ州、イリノイ州、ケンタッキー州、ルイジアナ州、ミネソタ州、ミズーリ州、ニューメキシコ州、ノースダコタ州、サウスダコタ州、ワイオミング州)からウエストナイル熱患者合計89名が報告された。2004年これまでに、ArboNETを通じてCDCに対して、24州からウエストナイル熱患者合計495名が報告された。そのうち、274名(55%)がアリゾナ州から報告された。患者281名(58%)が男性で、年齢の中央値は51歳(範囲 : 1カ月 ~ 99歳)、発病日は4月20日 ~ 8月3日であった。患者10名が死亡した。

表 . 米国でのウエストナイルウイルスの活動性

(CDCホームページより)

(2004/1/1 ~ 2004/8/17)

州	神経侵襲性 ¹⁾	ウエストナイル熱 ²⁾	他 / 不明 ³⁾	ヒト患者数	死亡者数
アラバマ	4	0	0	4	0
アリゾナ	112	31	148	291	3
アーカンソー	1	2	0	3	0
カリフォルニア	64	74	24	162	5
コロラド	18	104	0	122	1
フロリダ	9	3	0	12	1
イリノイ	3	2	1	6	0
アイオワ	1	2	0	3	1
ケンタッキー	0	1	0	1	0
ルイジアナ	10	0	0	10	5
メリーランド	0	1	0	1	0
ミシガン	1	0	0	1	0
ミネソタ	4	3	0	7	0
ミシシッピ	3	1	1	5	0
ミズーリ	2	1	1	4	1
ネブラスカ	0	1	0	1	0
ネバダ	2	0	0	2	0
ニューメキシコ	5	12	1	18	0
ニューヨーク	2	1	0	3	0
ノースダコタ	0	2	0	2	0
オハイオ	2	0	0	2	1
ペンシルバニア	1	0	0	1	0
サウスダコタ	2	13	0	15	0
テキサス	4	1	0	5	2
ユタ	2	2	0	4	0
バージニア	0	0	1	1	0
ワイオミング	1	2	0	3	0
合 計	253	259	177	689	20

- 1) 重症例を示し、特にウエストナイル髄膜炎やウエストナイル脳炎である。
- 2) 神経侵襲性の証拠がなく、より重症度の低い症例。ウエストナイル熱は現在、国レベルでは報告義務のある疾患ではない。したがって、州保健当局がCDCに報告するかどうかは任意である。
- 3) 「他」とはウエストナイル熱、ウエストナイル脳炎、あるいはウエストナイル髄膜炎以外の臨床所見を示す症例で、例えば急性弛緩性麻痺。「不明」とは十分な臨床情報が得られていない症例。

献血ドナー：

ウエストナイルウイルス血症疑いドナー(PVDs)46名がArboNETに報告された。そのうち、33名(72%)がアリゾナ州から、7名がカリフォルニア州から、3名がサウスダコタ州から、それぞれ1名がコロラド、アイオワ、ニューメキシコの各州から報告された。ArboNETに報告された46名中、66歳と69歳のドナー2名がその後神経障害を呈し、7名(年齢の中央値：55歳、範囲：22 ~ 72歳)がウエストナイル熱を発病した。

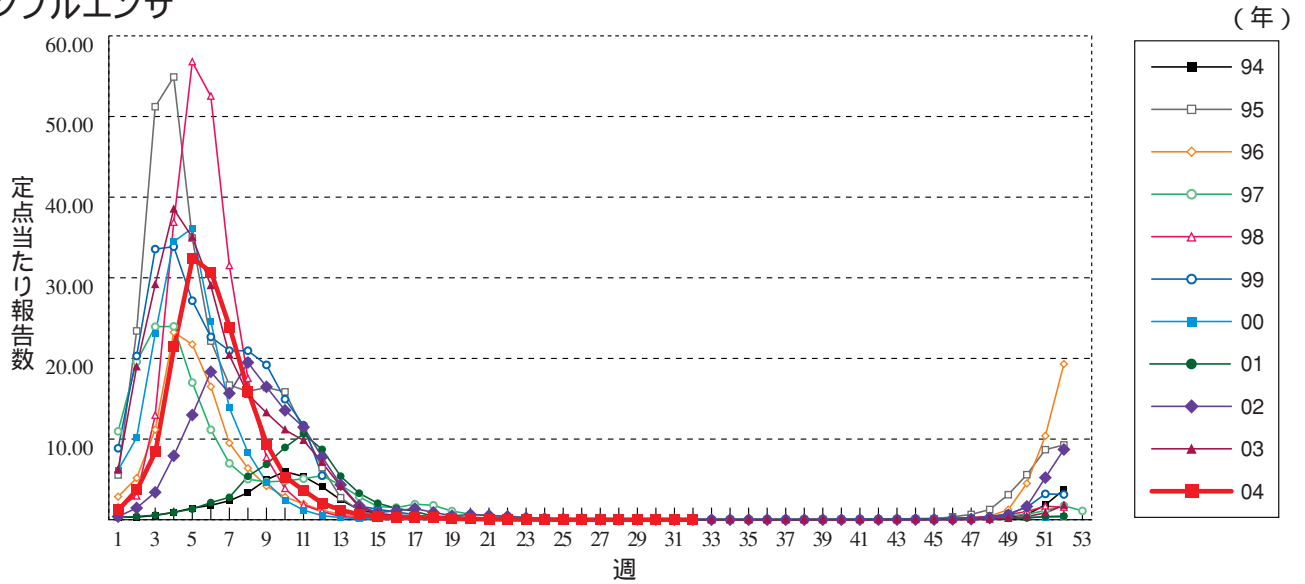


感染症の話

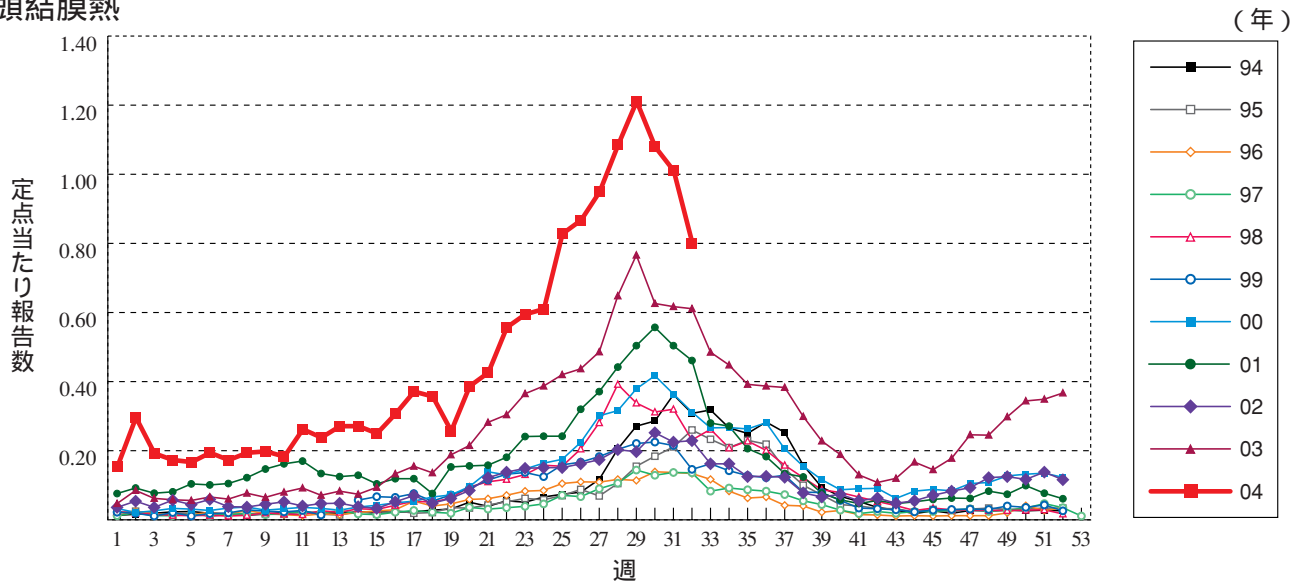
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(32週)

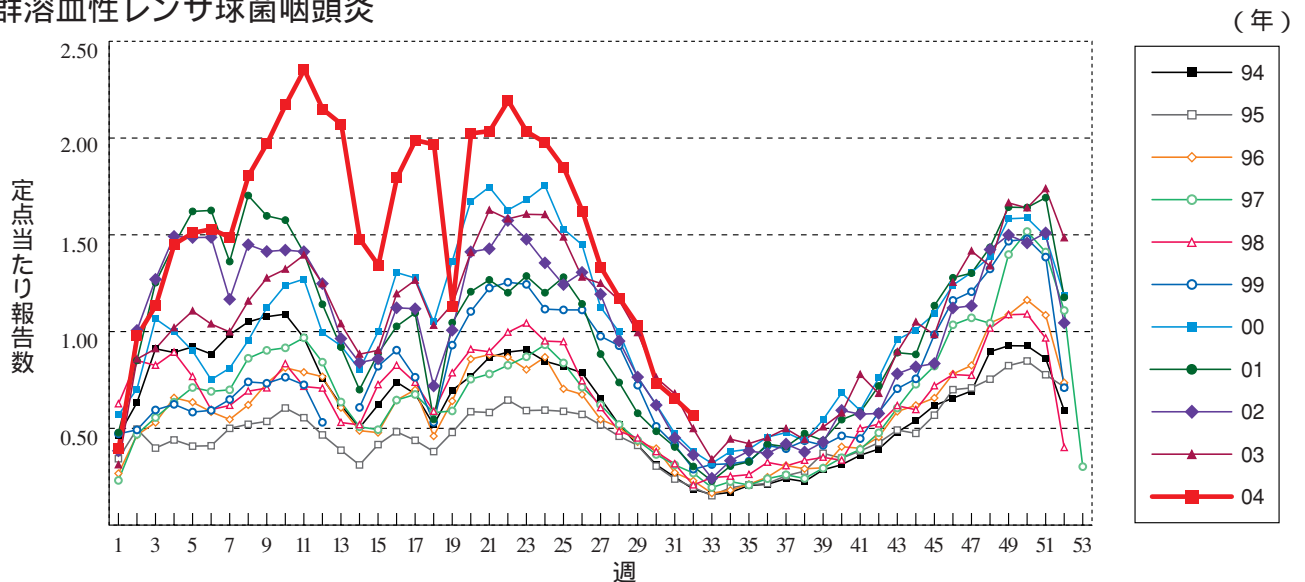
インフルエンザ



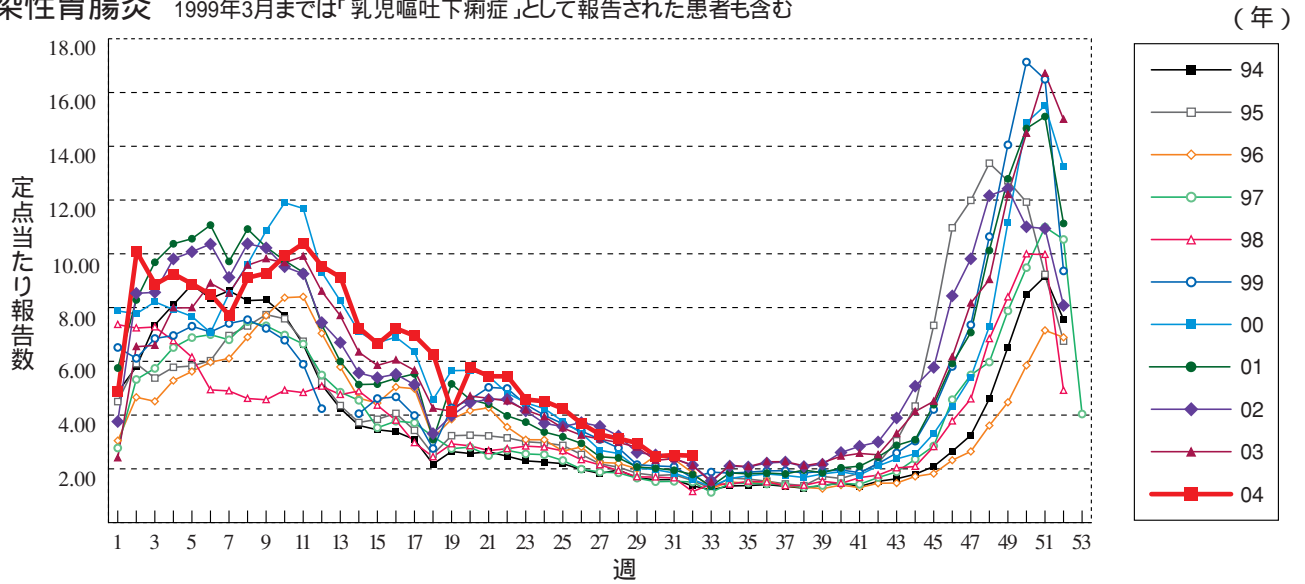
咽頭結膜熱



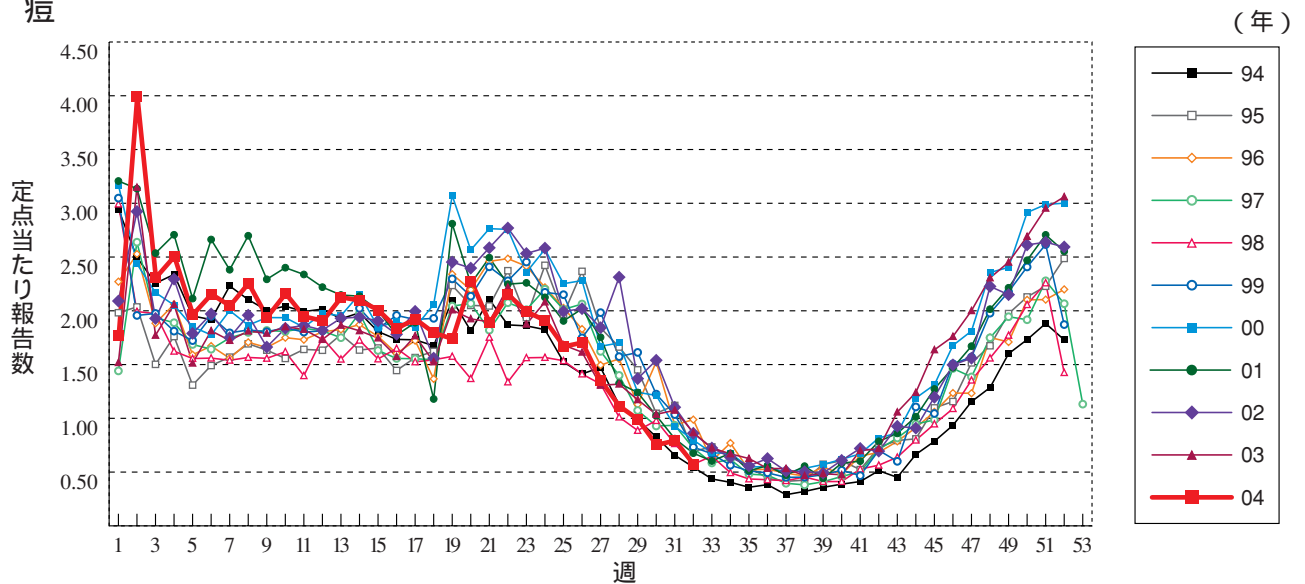
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



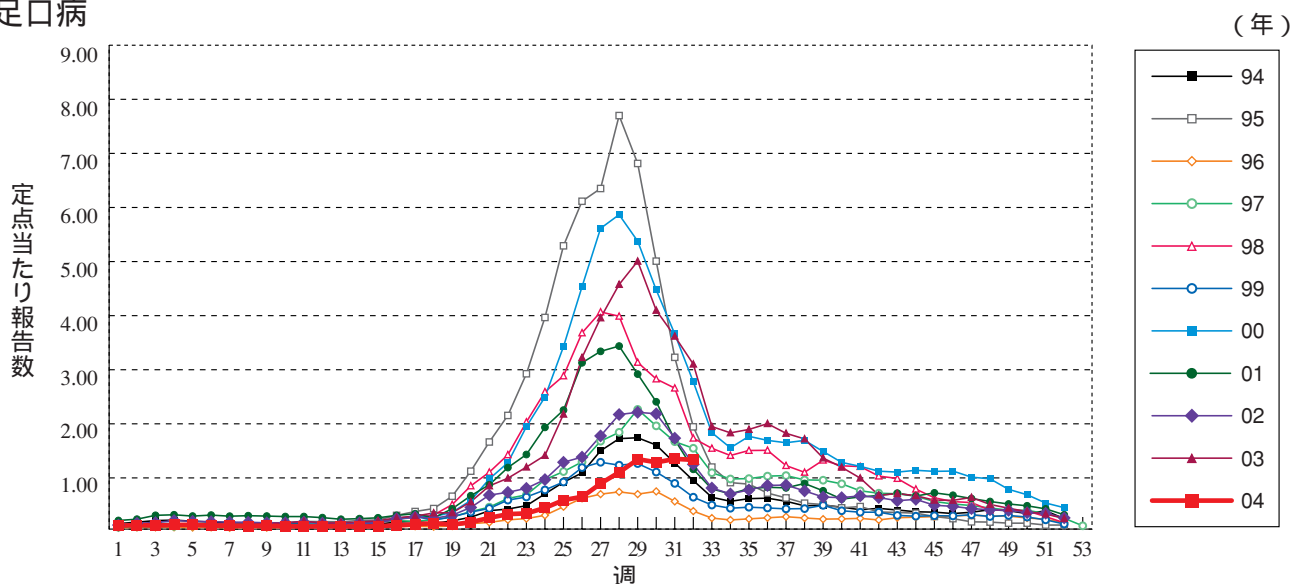
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



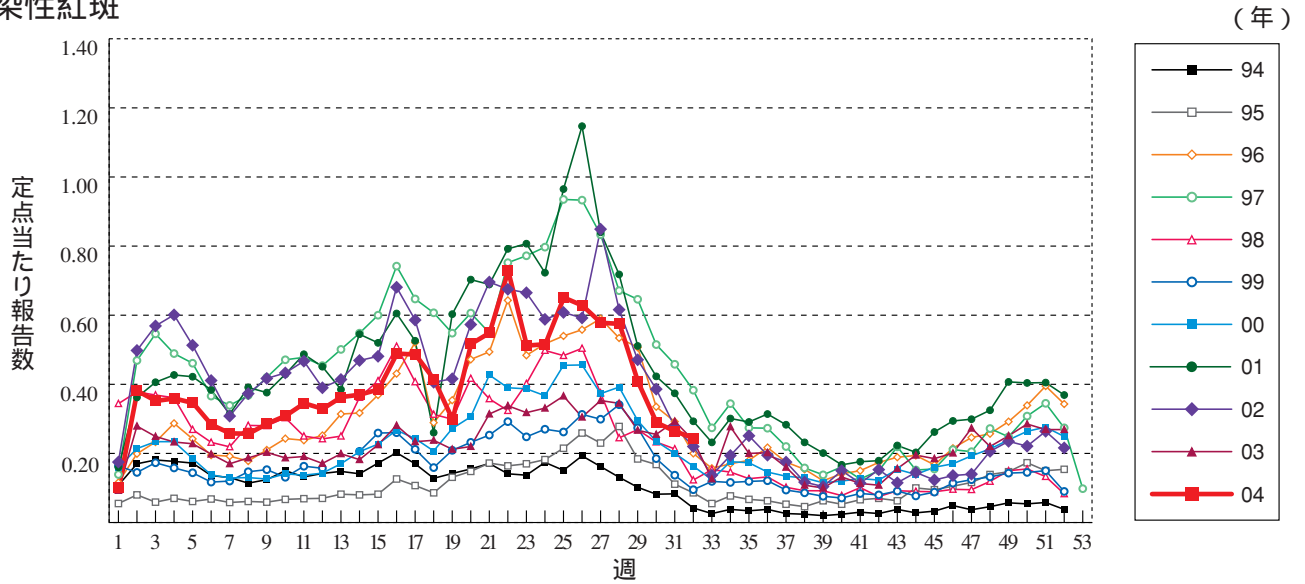
水痘



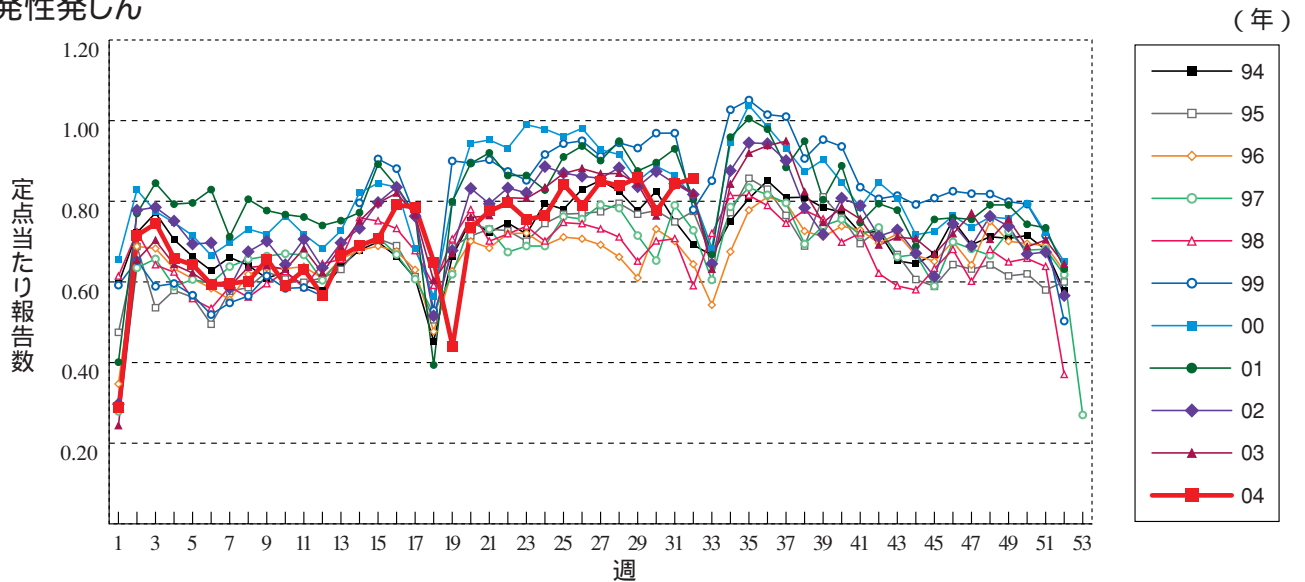
手足口病



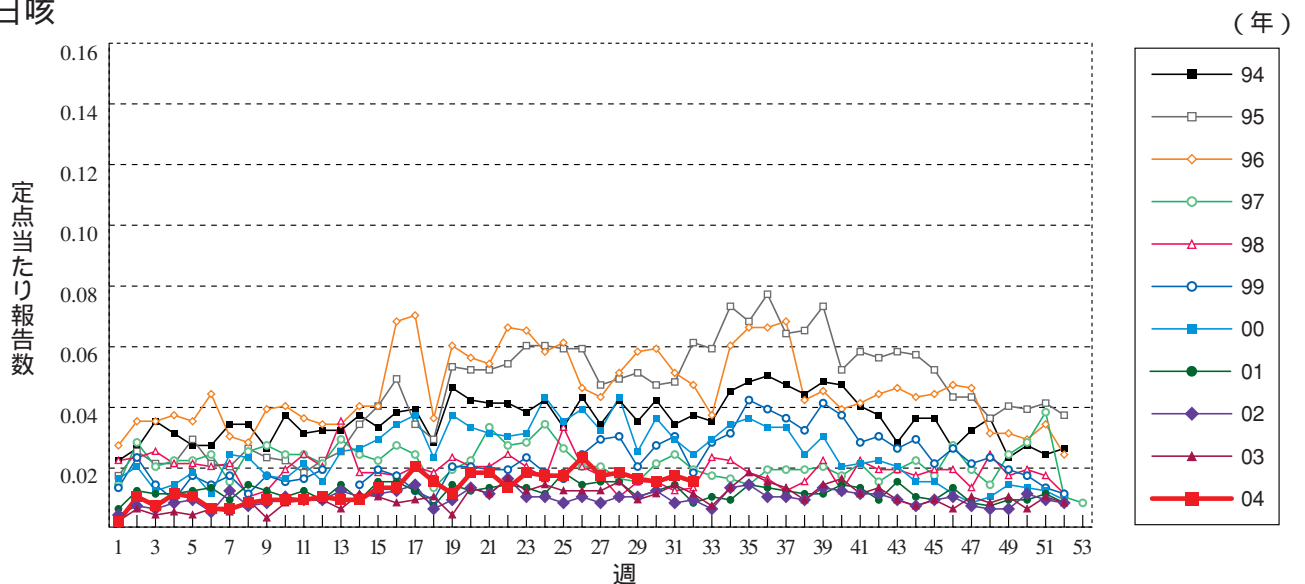
伝染性紅斑



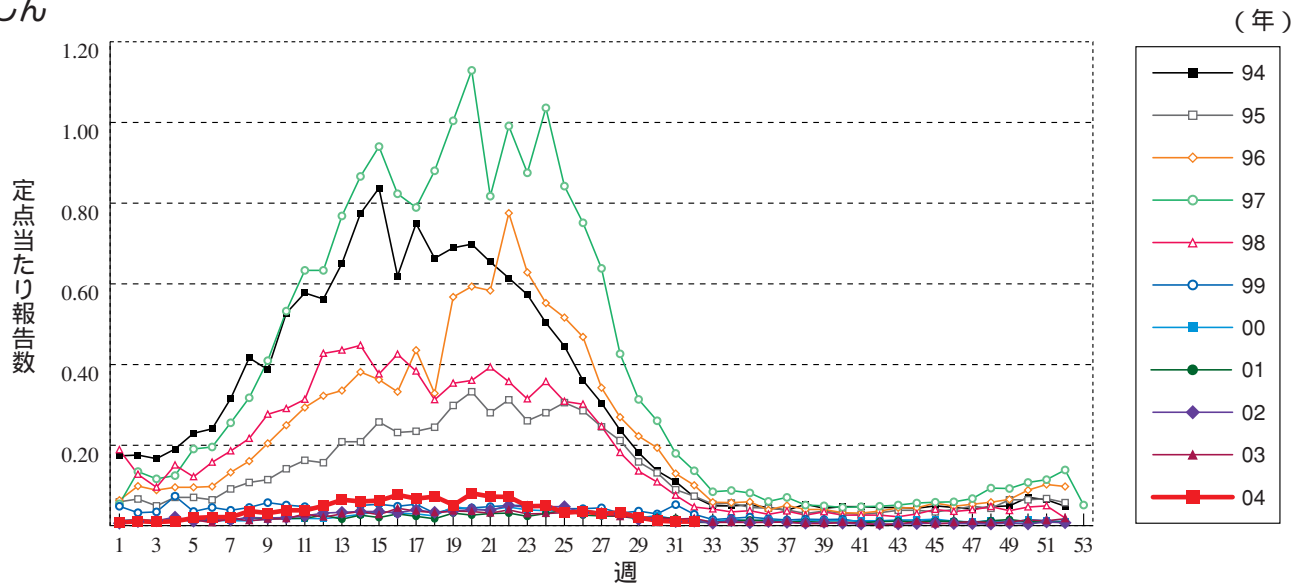
突発性発しん



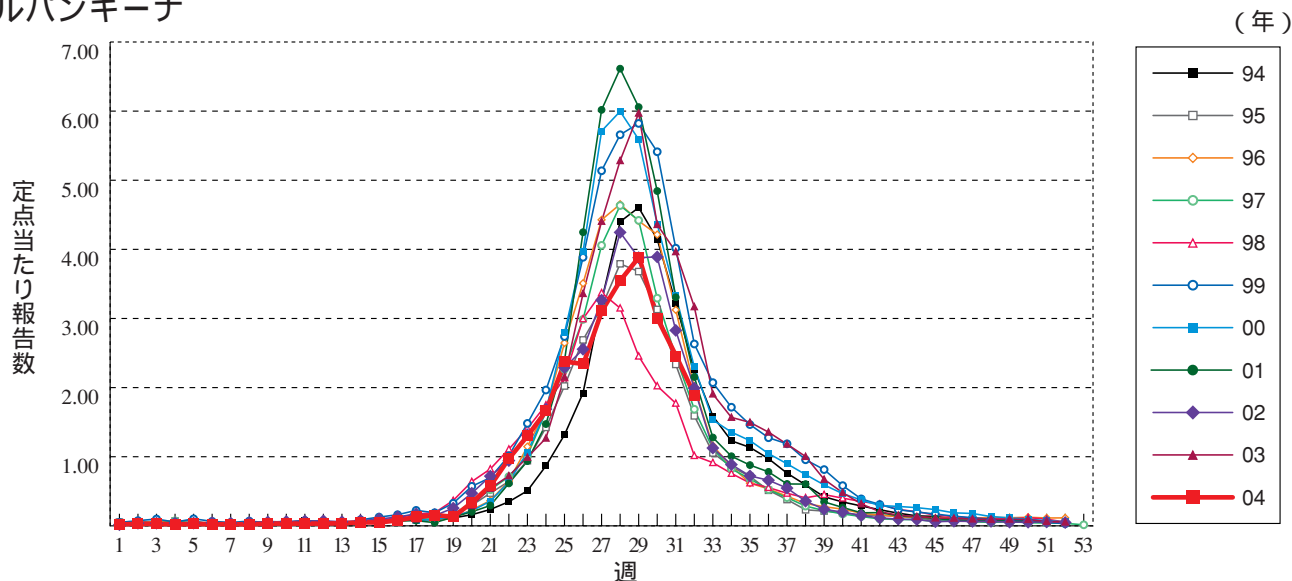
百日咳



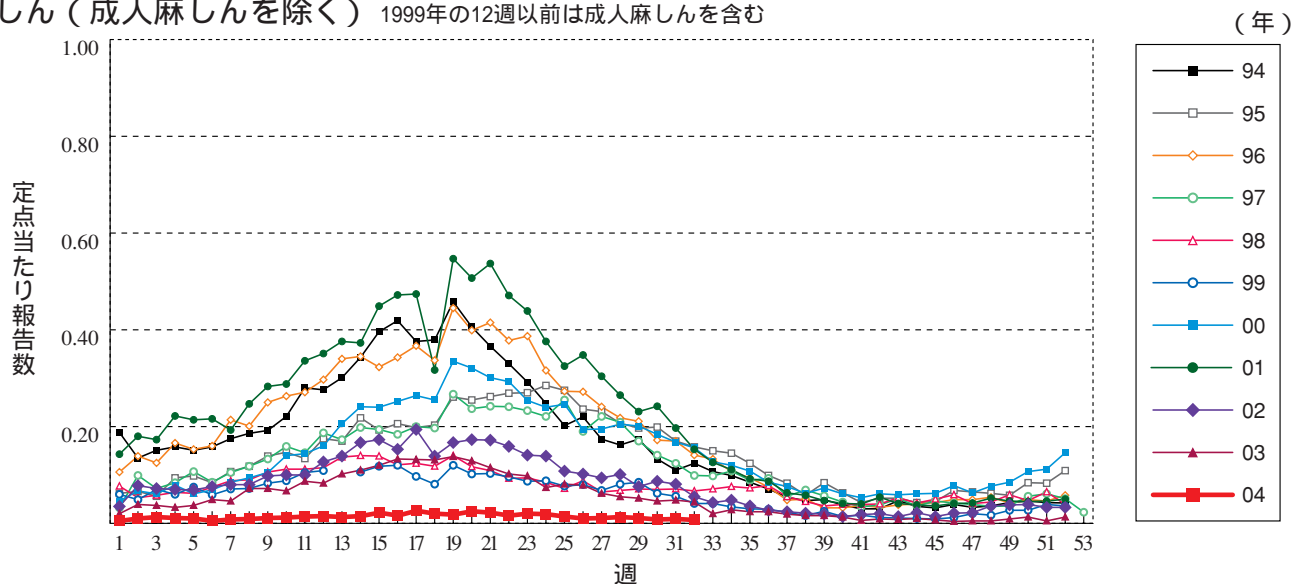
風しん



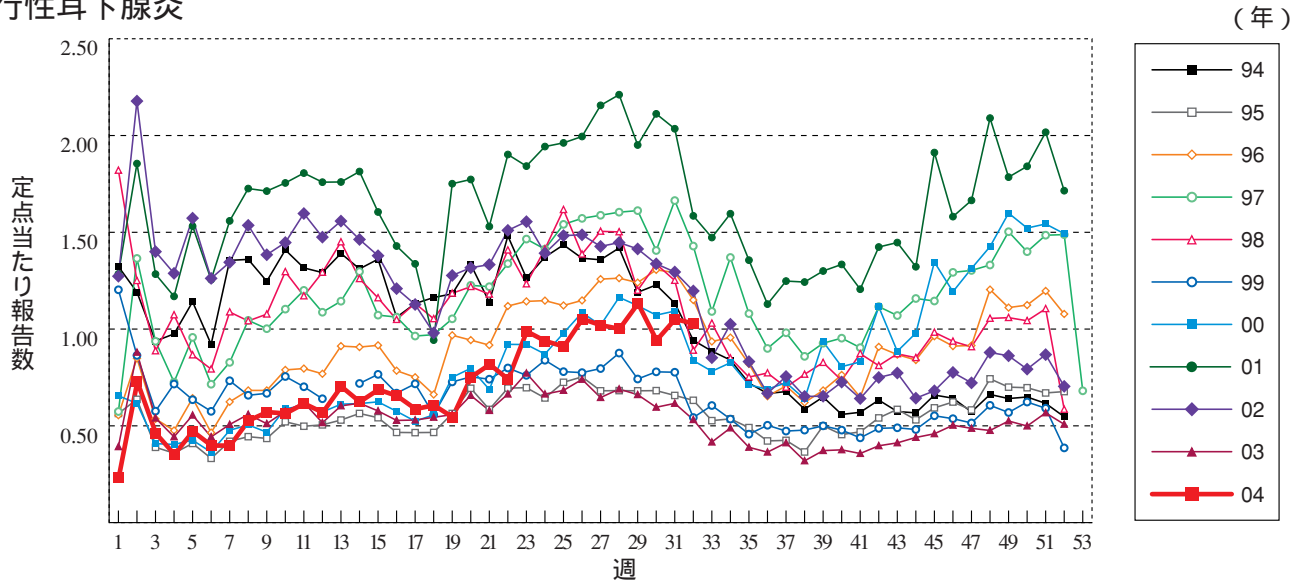
ヘルパンギーナ



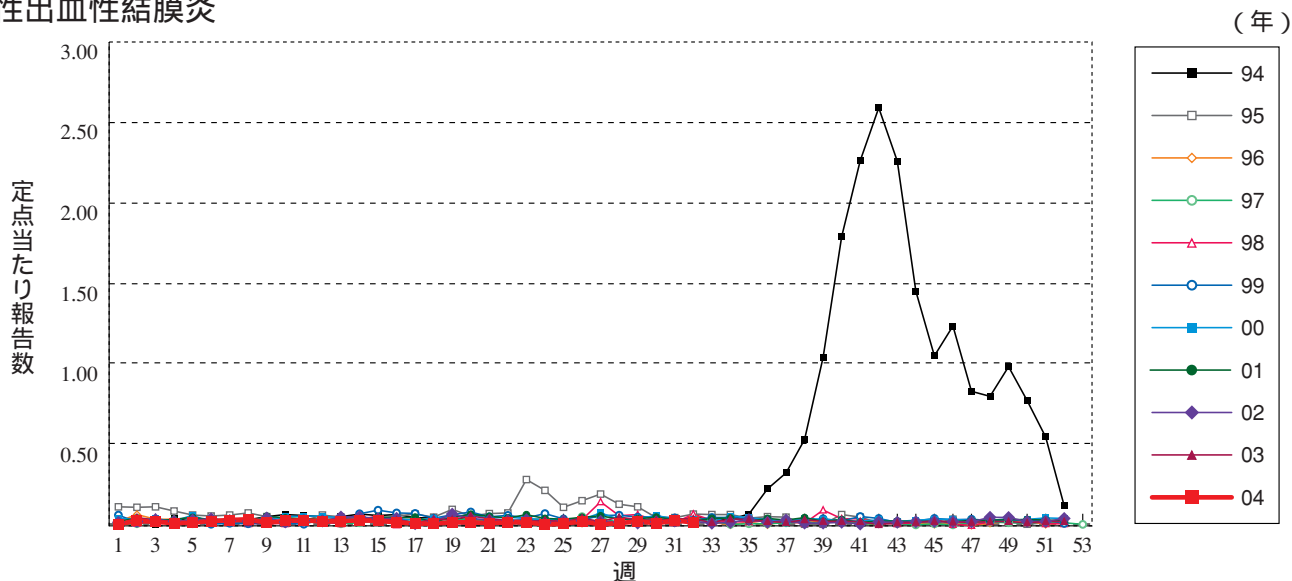
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



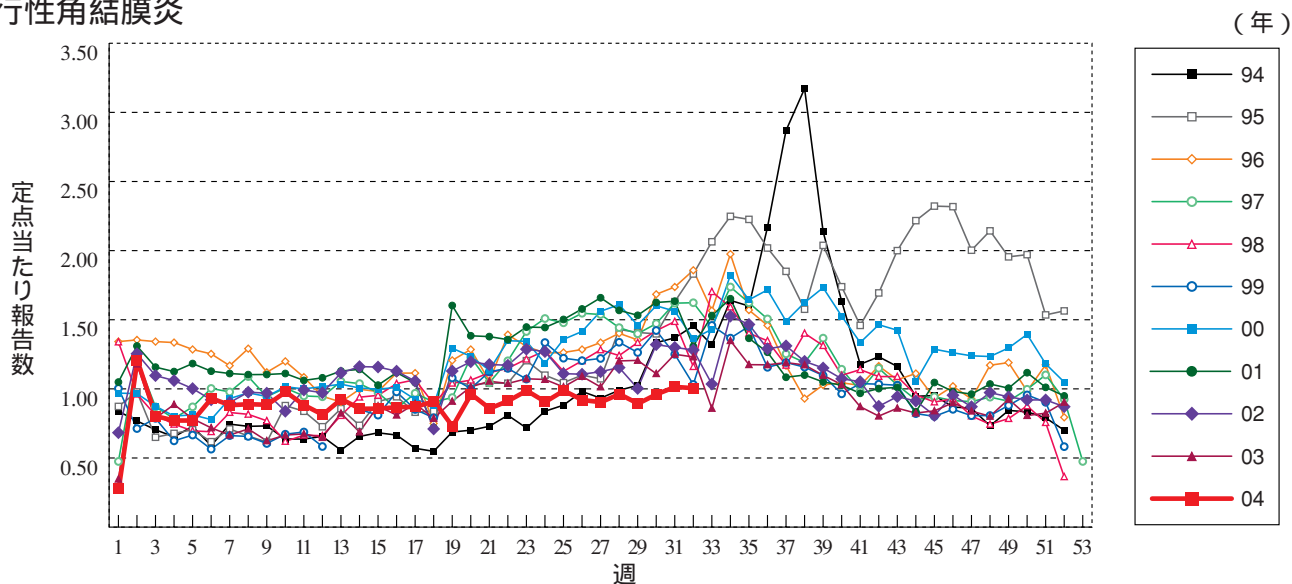
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

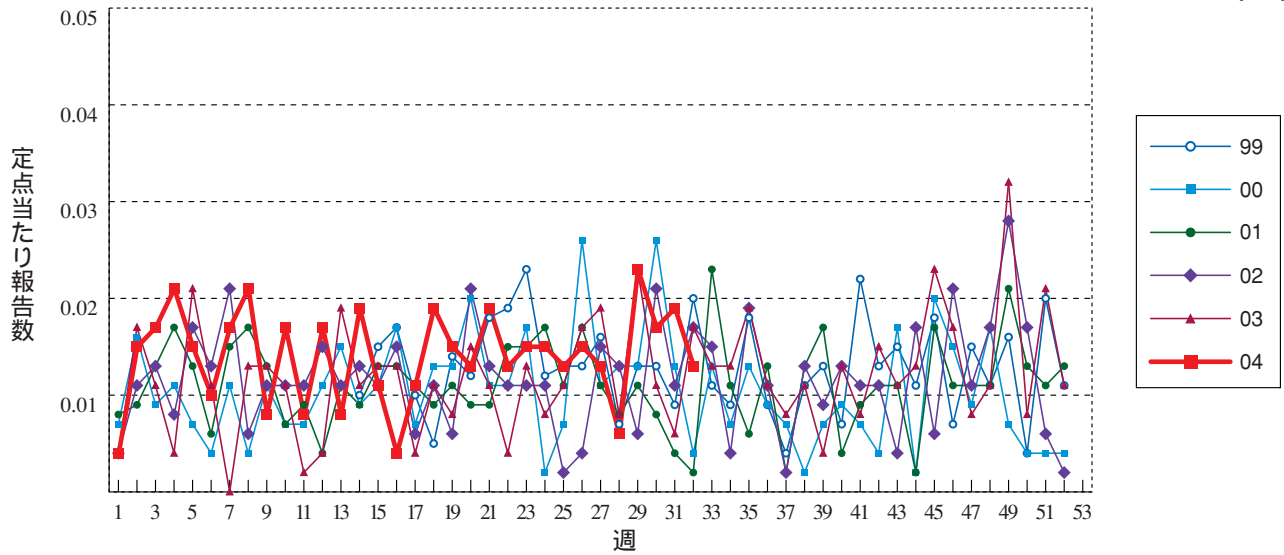


流行性角結膜炎



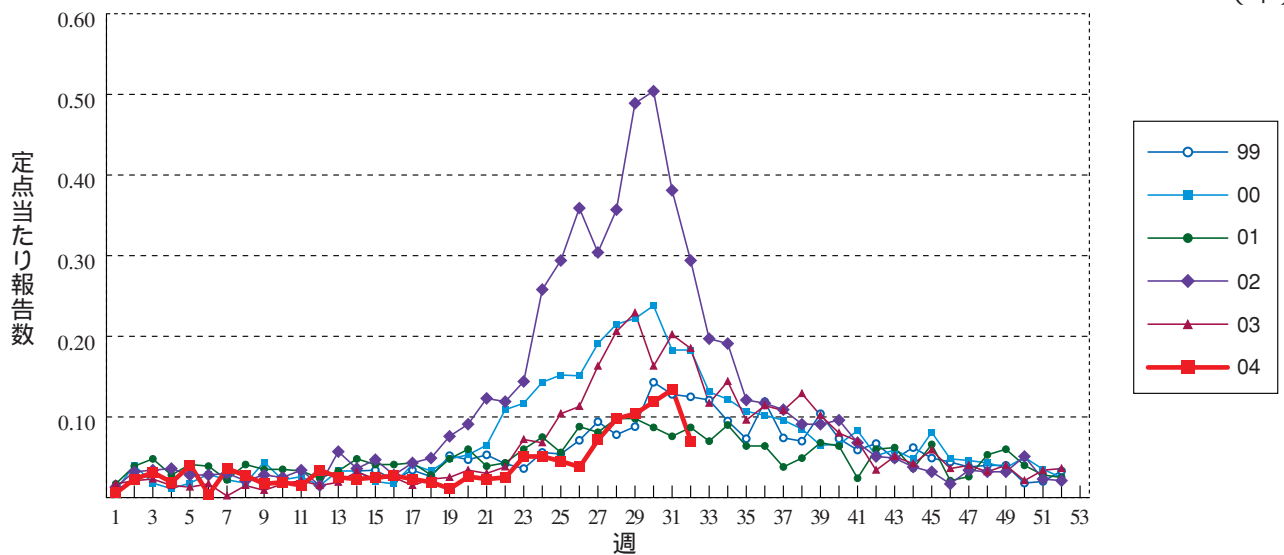
細菌性髄膜炎

(年)



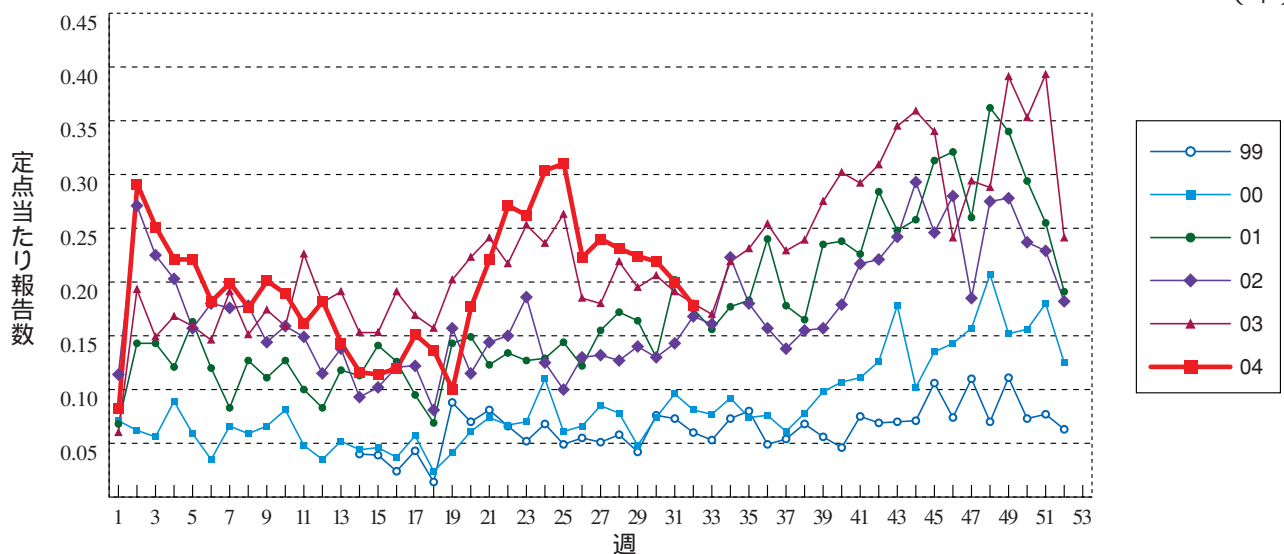
無菌性髄膜炎

(年)



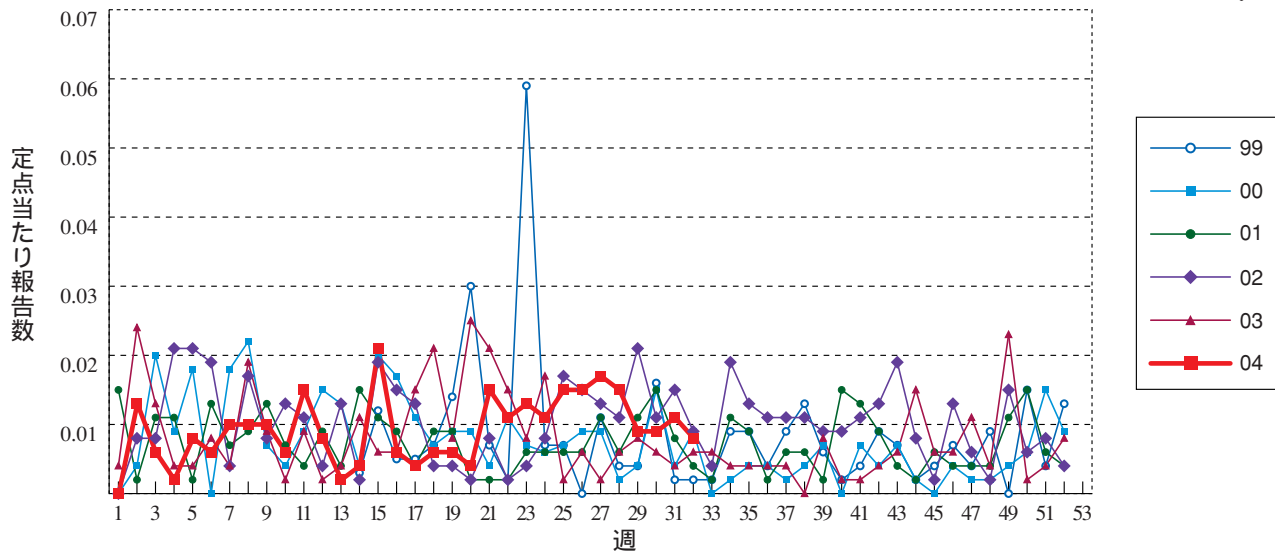
マイコプラズマ肺炎

(年)



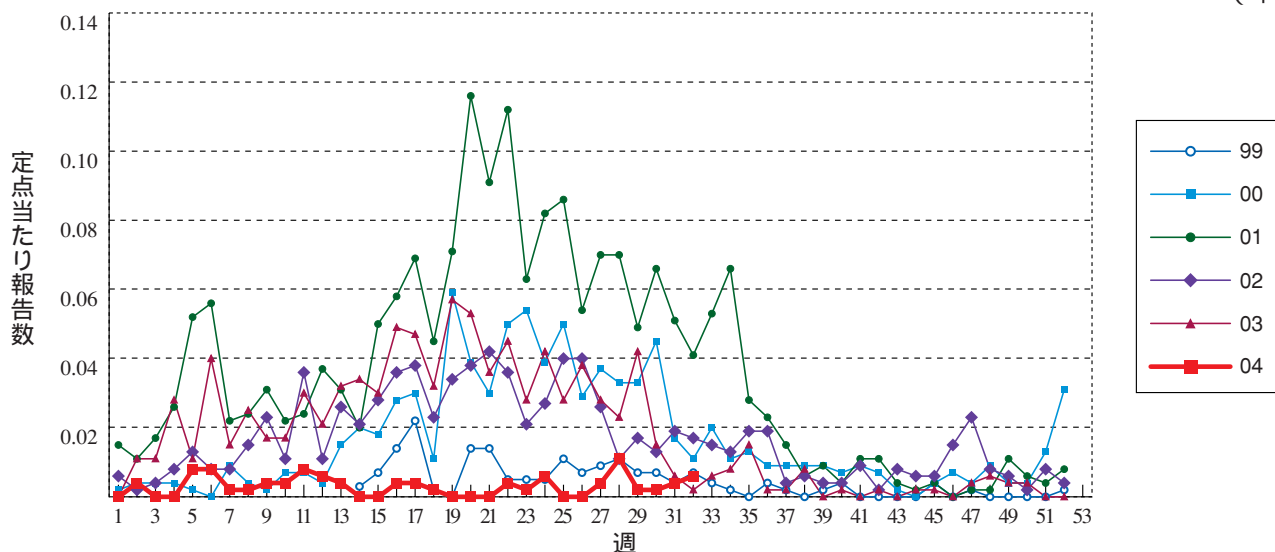
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



成人麻疹

(年)





32週のデータ

注)表中の報告数は8月12日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年32週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	41	14	284	1	36	1	44
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	2	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	-	-	1	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	14	-	1	-	3	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	21	-	3	-	5	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	4	70	1	10	-	11	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12	-	3	-	2	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	4	-	2	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	15	-	-	-	3	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	1	-	4	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	32	-	3	-	2	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2	12	-	3	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	190	1873	3	351	-	19	-	-	-	30	-	-	4	172
北海道	-	-	-	-	5	30	-	6	-	19	-	-	-	1	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	4	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	21	56	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	4	24	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	1	12	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
栃木県	-	-	-	-	2	21	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	1	2
群馬県	-	-	-	-	8	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	3	48	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	4	79	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	-	13	153	-	83	-	-	-	-	-	2	-	-	-	30
神奈川県	-	-	-	-	7	32	-	19	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	2	18	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	11	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	6	156	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	5	25	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	2	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	1	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	26	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	8	36	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	7	77	-	34	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	1	34	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	5	15	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	3	37	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	4	126	-	35	-	-	-	-	-	6	-	-	2	19
兵庫県	-	-	-	-	9	90	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	-	8	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	14	121	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	5	36	1	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
山口県	-	-	-	-	3	28	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	6	49	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	53	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	12	80	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	7	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	61	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	7	42	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	20	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	5	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	21	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	6	1	97	-	36	14	672	-	2	-	49	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	6	-	-	-	2	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	6	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	23	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	30	-	-	-	5	-	-
東京都	-	1	-	-	-	5	-	9	-	5	5	263	-	-	-	13	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	1	44	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	4	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	24	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	20	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	40	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	1	68	-	-	-	5	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	1	12	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	11	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	16	-	5	-	-	1	97	3	12	1	23	-	1	4	295	1	57
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2
東京都	-	4	-	3	-	-	-	5	1	8	-	-	-	-	-	40	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	9	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	2
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	2	3	-	-	-	-	1	20	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	10	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	6	-	1	
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	9	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	4	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	14	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	1	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	-	3	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34	1	4	2	80
北海道	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	11
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	21	-	-	-	96	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	-	41	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年32週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	9	0.00	2431	0.80	1713	0.56	7554	2.49	1737	0.57	3909	1.29	742	0.24	2602	0.86	46	0.02
北海道	-	-	232	1.62	100	0.70	146	1.02	136	0.95	578	4.04	22	0.15	94	0.66	-	-
青森県	-	-	29	0.69	13	0.31	50	1.19	25	0.60	6	0.14	2	0.05	31	0.74	1	0.02
岩手県	-	-	57	1.54	16	0.43	38	1.03	27	0.73	12	0.32	10	0.27	31	0.84	-	-
宮城県	-	-	45	0.76	40	0.68	166	2.81	50	0.85	25	0.42	34	0.58	64	1.08	-	-
秋田県	-	-	14	0.40	16	0.46	61	1.74	21	0.60	4	0.11	2	0.06	21	0.60	-	-
山形県	-	-	15	0.50	32	1.07	42	1.40	18	0.60	3	0.10	6	0.20	25	0.83	-	-
福島県	-	-	44	0.92	33	0.69	172	3.58	43	0.90	18	0.38	7	0.15	51	1.06	1	0.02
茨城県	1	0.01	42	0.57	39	0.53	98	1.32	46	0.62	112	1.51	12	0.16	48	0.65	-	-
栃木県	-	-	11	0.24	7	0.15	81	1.76	25	0.54	12	0.26	12	0.26	29	0.63	1	0.02
群馬県	-	-	82	1.32	37	0.60	118	1.90	50	0.81	11	0.18	38	0.61	47	0.76	-	-
埼玉県	-	-	234	1.48	95	0.60	387	2.45	90	0.57	170	1.08	74	0.47	141	0.89	3	0.02
千葉県	-	-	76	0.60	68	0.54	283	2.25	73	0.58	130	1.03	45	0.36	104	0.83	1	0.01
東京都	-	-	79	0.56	47	0.33	311	2.19	48	0.34	98	0.69	48	0.34	93	0.65	-	-
神奈川県	1	0.00	113	0.55	67	0.33	366	1.78	110	0.53	248	1.20	71	0.34	203	0.99	4	0.02
新潟県	-	-	61	1.02	42	0.70	102	1.70	35	0.58	115	1.92	14	0.23	50	0.83	-	-
富山県	-	-	32	1.10	37	1.28	114	3.93	12	0.41	79	2.72	9	0.31	21	0.72	-	-
石川県	1	0.02	22	0.76	13	0.45	131	4.52	10	0.34	60	2.07	11	0.38	23	0.79	-	-
福井県	-	-	53	2.41	9	0.41	171	7.77	36	1.64	35	1.59	7	0.32	18	0.82	-	-
山梨県	-	-	6	0.24	8	0.32	49	1.96	15	0.60	23	0.92	1	0.04	11	0.44	-	-
長野県	-	-	85	1.55	39	0.71	150	2.73	24	0.44	193	3.51	23	0.42	44	0.80	-	-
岐阜県	-	-	32	0.60	11	0.21	78	1.47	23	0.43	23	0.43	2	0.04	23	0.43	-	-
静岡県	-	-	53	0.62	42	0.49	265	3.08	51	0.59	115	1.34	17	0.20	99	1.15	3	0.03
愛知県	-	-	119	0.65	84	0.46	363	1.99	77	0.42	89	0.49	42	0.23	174	0.96	4	0.02
三重県	-	-	43	0.96	22	0.49	181	4.02	35	0.78	41	0.91	4	0.09	55	1.22	-	-
滋賀県	-	-	42	1.27	9	0.27	56	1.70	7	0.21	26	0.79	2	0.06	22	0.67	-	-
京都府	-	-	35	0.46	26	0.34	206	2.71	31	0.41	62	0.82	14	0.18	44	0.58	1	0.01
大阪府	1	0.00	119	0.61	99	0.51	471	2.42	96	0.49	207	1.06	34	0.17	122	0.63	3	0.02
兵庫県	-	-	78	0.61	70	0.55	311	2.43	64	0.50	300	2.34	29	0.23	97	0.76	3	0.02
奈良県	-	-	19	0.54	20	0.57	75	2.14	23	0.66	15	0.43	5	0.14	20	0.57	-	-
和歌山県	-	-	27	0.87	10	0.32	90	2.90	26	0.84	16	0.52	8	0.26	31	1.00	2	0.06
鳥取県	-	-	5	0.26	19	1.00	114	6.00	11	0.58	1	0.05	-	-	18	0.95	-	-
島根県	1	0.03	11	0.48	5	0.22	98	4.26	5	0.22	4	0.17	1	0.04	32	1.39	1	0.04
岡山県	-	-	21	0.39	21	0.39	157	2.91	30	0.56	21	0.39	7	0.13	53	0.98	3	0.06
広島県	-	-	83	1.11	43	0.57	251	3.35	31	0.41	16	0.21	17	0.23	49	0.65	1	0.01
山口県	-	-	30	0.61	44	0.90	191	3.90	32	0.65	50	1.02	13	0.27	65	1.33	-	-
徳島県	-	-	18	0.78	10	0.43	45	1.96	11	0.48	5	0.22	6	0.26	25	1.09	-	-
香川県	-	-	12	0.38	19	0.59	86	2.69	15	0.47	8	0.25	1	0.03	28	0.88	-	-
愛媛県	-	-	31	0.79	39	1.00	164	4.21	18	0.46	42	1.08	3	0.08	57	1.46	-	-
高知県	-	-	42	1.35	28	0.90	53	1.71	9	0.29	35	1.13	5	0.16	23	0.74	-	-
福岡県	-	-	59	0.49	99	0.83	418	3.48	92	0.77	343	2.86	35	0.29	143	1.19	4	0.03
佐賀県	-	-	11	0.48	22	0.96	20	0.87	29	1.26	68	2.96	5	0.22	34	1.48	-	-
長崎県	-	-	21	0.48	20	0.45	107	2.43	16	0.36	73	1.66	3	0.07	27	0.61	5	0.11
熊本県	-	-	55	1.12	27	0.55	170	3.47	26	0.53	55	1.12	5	0.10	54	1.10	-	-
大分県	-	-	19	0.53	64	1.78	191	5.31	24	0.67	176	4.89	14	0.39	52	1.44	2	0.06
宮崎県	-	-	57	1.54	34	0.92	153	4.14	17	0.46	37	1.00	12	0.32	51	1.38	1	0.03
鹿児島県	-	-	32	0.57	26	0.46	182	3.25	32	0.57	97	1.73	5	0.09	39	0.70	-	-
沖縄県	4	0.07	25	0.74	42	1.24	22	0.65	12	0.35	52	1.53	5	0.15	16	0.47	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年32週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	31	0.01	5736	1.89	21	0.01	3124	1.03	13	0.02	635	1.00	6	0.01	33	0.07	84	0.18
北海道	2	0.01	486	3.40	1	0.01	100	0.70	-	-	20	0.69	-	-	-	-	9	0.39
青森県	-	-	141	3.36	1	0.02	35	0.83	-	-	4	0.36	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	104	2.81	3	0.08	20	0.54	-	-	20	1.67	-	-	2	0.10	1	0.05
宮城県	-	-	272	4.61	-	-	46	0.78	3	0.27	2	0.18	-	-	-	-	4	0.33
秋田県	-	-	201	5.74	-	-	4	0.11	-	-	3	0.43	-	-	-	-	8	1.14
山形県	-	-	126	4.20	-	-	42	1.40	-	-	17	2.13	-	-	-	-	6	0.60
福島県	1	0.02	169	3.52	3	0.06	29	0.60	1	0.08	14	1.17	-	-	2	0.29	-	-
茨城県	-	-	141	1.91	-	-	20	0.27	-	-	44	2.75	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.04	107	2.33	-	-	22	0.48	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	92	1.48	-	-	93	1.50	-	-	51	3.64	-	-	3	0.30	1	0.10
埼玉県	2	0.01	344	2.18	1	0.01	294	1.86	1	0.03	30	0.86	-	-	-	-	-	-
千葉県	3	0.02	285	2.26	2	0.02	184	1.46	-	-	31	1.00	-	-	-	-	1	0.11
東京都	1	0.01	275	1.94	1	0.01	62	0.44	-	-	18	1.29	1	0.04	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	449	2.18	-	-	164	0.80	1	0.02	36	0.86	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	187	3.12	-	-	59	0.98	-	-	4	0.44	-	-	-	-	6	0.46
富山県	-	-	157	5.41	1	0.03	17	0.59	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	7	0.24	-	-	9	0.31	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	33	1.50	-	-	37	1.68	-	-	1	0.33	-	-	2	0.33	-	-
山梨県	-	-	46	1.84	-	-	1	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.10
長野県	1	0.02	249	4.53	-	-	42	0.76	1	0.09	3	0.27	-	-	4	0.36	2	0.18
岐阜県	-	-	55	1.04	-	-	92	1.74	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	157	1.83	-	-	87	1.01	-	-	6	0.30	-	-	2	0.20	2	0.20
愛知県	5	0.03	168	0.92	1	0.01	299	1.64	1	0.03	33	0.94	-	-	-	-	7	0.54
三重県	-	-	80	1.78	-	-	27	0.60	-	-	5	0.42	-	-	2	0.22	1	0.11
滋賀県	1	0.03	43	1.30	-	-	19	0.58	-	-	1	0.14	-	-	4	0.57	1	0.14
京都府	-	-	50	0.66	1	0.01	38	0.50	-	-	12	0.67	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	197	1.01	2	0.01	293	1.50	1	0.02	25	0.51	1	0.07	1	0.07	3	0.20
兵庫県	-	-	168	1.31	1	0.01	148	1.16	-	-	43	1.23	1	0.08	-	-	1	0.08
奈良県	-	-	36	1.03	-	-	17	0.49	2	0.22	5	0.56	1	0.17	-	-	1	0.17
和歌山県	1	0.03	34	1.10	-	-	59	1.90	-	-	-	-	-	-	1	0.09	1	0.09
鳥取県	-	-	17	0.89	-	-	3	0.16	-	-	2	0.67	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	46	2.00	-	-	21	0.91	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	2	0.04	55	1.02	-	-	40	0.74	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	116	1.55	2	0.03	99	1.32	1	0.05	37	1.85	1	0.05	2	0.11	4	0.21
山口県	-	-	133	2.71	-	-	90	1.84	-	-	4	0.44	-	-	-	-	4	0.44
徳島県	1	0.04	40	1.74	-	-	3	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29
香川県	-	-	14	0.44	-	-	13	0.41	1	0.33	5	1.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	53	1.36	-	-	41	1.05	-	-	22	3.14	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	58	1.87	-	-	14	0.45	-	-	5	1.67	-	-	-	-	3	0.33
福岡県	2	0.02	118	0.98	-	-	225	1.88	-	-	10	0.38	-	-	1	0.07	4	0.27
佐賀県	1	0.04	25	1.09	-	-	102	4.43	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	32	0.73	-	-	12	0.27	-	-	4	0.50	-	-	-	-	2	0.17
熊本県	-	-	51	1.04	-	-	41	0.84	-	-	17	1.89	1	0.07	2	0.13	2	0.13
大分県	-	-	65	1.81	-	-	19	0.53	-	-	5	1.00	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	19	0.51	-	-	11	0.30	-	-	4	1.00	-	-	1	0.14	2	0.29
鹿児島県	-	-	31	0.55	-	-	14	0.25	-	-	6	0.86	-	-	3	0.25	-	-
沖縄県	2	0.06	4	0.12	1	0.03	17	0.50	-	-	52	5.20	-	-	-	-	2	0.29

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年32週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	3	0.01	43
北海道	-	-	-	-	2
青森県	1	0.17	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	...
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	2
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	3	0.12	2
神奈川県	-	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	...
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	1	0.10	-	-	...
長野県	-	-	-	-	7
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	10

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第32号 平成16年8月20日発行
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。